

NETIS - 技術概要説明資料（様式2） 書き方のポイント

近畿技術事務所

目 録

- 1.NETIS作成用サイトへのアクセス P3
- 2.NETIS新技術情報作成ページの説明 P4
- 3.様式2記入のポイント(名称・分類) P9
- 4.様式2記入のポイント(概要) P12
- 5.様式2記入のポイント(従来技術との比較) P17
- 6.様式2記入のポイント(施工実績等) P22
- 7.震災・維持管理NETIS P27

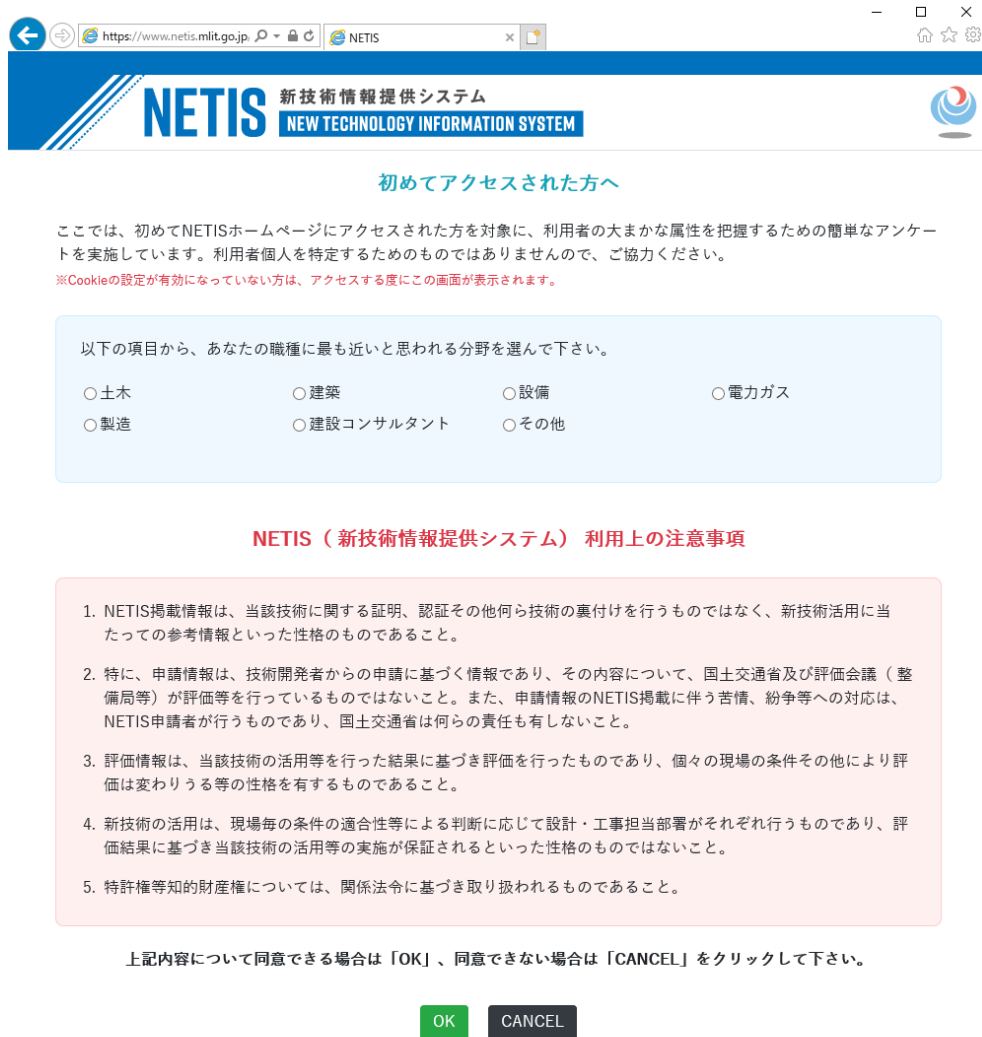
1.NETIS作成用サイトへのアクセス

NETISへアクセスします

<https://www.netis.mlit.go.jp/>

↑クリックするとブラウザが開きます

初めてアクセスした場合は右のように表示されます。該当する職種を選んで、利用上の注意事項に同意する場合「OK」を押してください。



The screenshot shows the NETIS (New Technology Information System) homepage. At the top, there is a navigation bar with the NETIS logo and the text '新技術情報提供システム NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM'. Below this, a message reads '初めてアクセスされた方へ' (For first-time access). The main content area contains a survey question: '以下の項目から、あなたの職種に最も近いと思われる分野を選んで下さい。' (From the following items, please select the field you think is closest to your profession). There are eight radio button options: 土木 (Civil Engineering), 製造 (Manufacturing), 建築 (Construction), 建設コンサルタント (Construction Consultant), 設備 (Equipment), and その他 (Others). The '電力ガス' (Electricity and Gas) option is also present. Below the form, there is a section titled 'NETIS（新技術情報提供システム）利用上の注意事項' (Terms of Use for NETIS). It contains five numbered points regarding the use of the system, including the fact that the information is for reference only and that users agree to the terms of use. At the bottom of the screenshot, there are two buttons: 'OK' (highlighted in green) and 'CANCEL'.

Copyright 2020, New Technology Information System. All Rights Reserved.

2.NETIS新技術情報作成ページの説明

NETISトップページ



NETISトップページが表示されます。

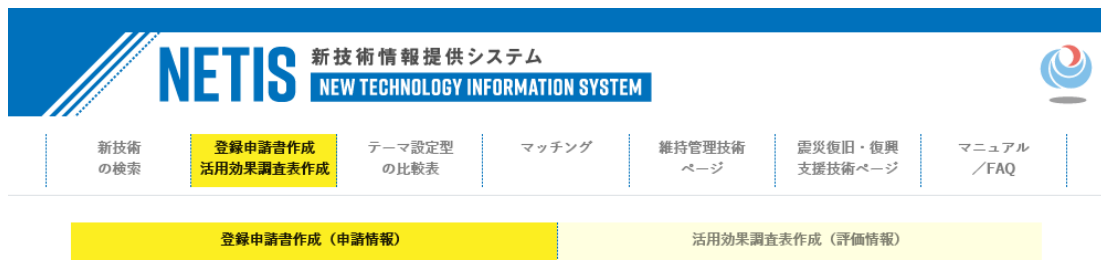
赤枠部の

「登録申請書作成 活用効果調査表作成」をクリック。

2.NETIS新技術情報作成ページの説明

続いて右の赤丸部をクリックし
作成用ページへアクセス。

ここで、活用効果調査表を
作成することもできます。



NETIS NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

新技術の検索 | **登録申請書作成
活用効果調査表作成** | テーマ設定型の比較表 | マッチング | 維持管理技術ページ | 震災復旧・復興支援技術ページ | マニュアル / FAQ

登録申請書作成 (申請情報) | 活用効果調査表作成 (評価情報)

NETIS (申請情報) への登録申請に必要な書類は以下のとおりです。ただし、必ず申請しようとしている地方整備局の技術事務所のホームページを確認して下さい。

申請書



次の様式が作成できます。

- ・様式1：申請書
- ・様式2：技術概要説明資料

- ・申請書 (様式-1) は必ずA3で両面印刷し、二つ折りにして提出してください。表裏2枚をのり付けしたものを、表裏一枚ずつのままのもの等で提出された場合は、受理出来ません。
- ・掲載内容には必ず代表者印を押してください。
- ・代表者名等の空欄部分については手入力にて記入をお願いします。
- ・誤記等の記載ミスも虚偽記載として扱われる場合があるため、慎重に記入してください。

詳細説明資料



ダウンロード




記入例

次の様式がダウンロードできます。

- ・様式3：詳細説明資料
- ・様式4：比較表

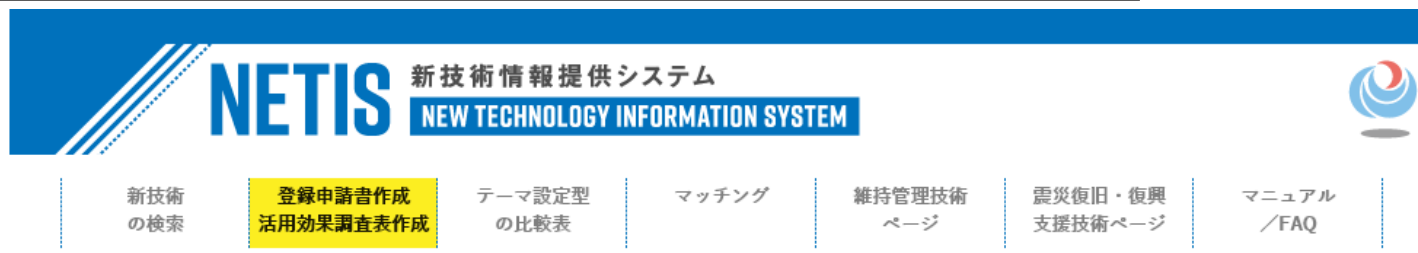
登録済みの申請情報を変更・修正する場合は様式 I -15を作成してください。

 [様式 I -15 申請情報の変更・更新申請書](#)

登録申請・相談窓口

各地方整備局の技術事務所ホームページへのリンク一覧です。新技術に関する申請ページをご覧ください。

NETIS新技術情報作成ページ各種機能の説明



※120分間でタイムアウトします。作成の都度、一時保存を行ってください。一時保存は画面上部メニュー「一時保存ファイルの作成」から行えます。

入力を全て消去

一時保存ファイルを読み込んで
続きから作成

作成を中断して一時保存ファイルとして保存

作成したものを任意のプリンターで
印刷・プレビュー

様式3ひな形をダウンロード

各種様式の提出用ファイルを作成し
ダウンロードして保存

作成を中断する場合は、必ず一時保存ファイルを作成して保存してください。
120分経過すると内容が削除されてしまいます。ご注意ください。



※一時保存ファイル、提出用ファイルは圧縮ファイルですが、解凍出来ないファイルです。
”上書き保存”は出来ないので注意してください。

新技術情報 各項目作成ページ

赤枠内のタブをクリックすると、
各該当項目の編集画面が表示されます。



技術名称

新技術情報 各項目作成ページ

震災NETISと維持管理NETISのタブは、それぞれの情報を入力するページが表示されます。

震災NETISと維持管理NETISは、震災復旧・復興に貢献する技術と点検等に資する技術について、申請者から情報を収集し、迅速かつ的確に検索し、適所での活用を支援することを目的としています。

登録についてはNETIS申請者の任意で行うことができます。



名称・分類 概要 従来技術との比較 施工実績等 震災NETIS 維持管理NETIS

名称・分類 概要 従来技術との比較 施工実績等 震災NETIS 維持管理NETIS

震災NETIS項目を登録する。

ジャンル

- ライフライン復旧 ライフライン復旧
- がれき・土砂処理 収集 分別 再生 処分
- 液状化対策 液状化対策
- 補修・修復 コンクリート構造物 橋梁 路面 河川護岸 海岸 その他 ()
- 仮設 足場 照明 仮設トイレ その他 ()
- 水中作業 水中作業

震災対応上の特徴 全角150文字以内

図説1111

名称・分類 概要 従来技術との比較 施工実績等 震災NETIS 維持管理NETIS

維持管理NETIS項目を登録する。

ジャンル

- トンネル内附属物 道路 港湾 空港 ダム 鉄道
- トンネル 道路 鉄道
- 橋梁 道路 鉄道
- 舗装 道路
- 道路附属物 道路
- 土工 道路 鉄道
- 係留施設 外郭施設 臨港交通施設 港湾

点検等上の特徴 全角150文字以内

占録等 全角150文字以内

3.様式2記入のポイント(名称・分類)

3-1 技術名称・副題・分類の記入

3-1-1 技術名称

申請する新技術の名前を記入。

技術名称は、変更できませんので、慎重に検討してください。

また、様式1、様式3～様式4に記載の技術名称と同じにする必要があります。

名称・分類
概要
従来技術との比較
施工実績等
震災NETIS
維持管理NETIS

技術名称

副題

技術開発年

記入年月日 

←記入年月日は記入日を選択してください

3-1-2 副題

申請する新技術の使用方法や用途を表現してください。技術名称だけでは判りにくいものを補完し内容が十分把握できるように、その技術の特徴を的確に表現してください。

情報提供の範囲 国土交通省のみ 一般

分類・区分 [LV1から順に選択してください。\(新技術が主に活用されるを分類1に入力してください。\)](#) [分類一覧をダウンロード](#)

分類1	レベル1 <input type="text"/>	レベル2 <input type="text"/>	レベル3 <input type="text"/>	レベル4 <input type="text"/>
分類2	レベル1 <input type="text"/>	レベル2 <input type="text"/>	レベル3 <input type="text"/>	レベル4 <input type="text"/>
分類3	レベル1 <input type="text"/>	レベル2 <input type="text"/>	レベル3 <input type="text"/>	レベル4 <input type="text"/>
分類4	レベル1 <input type="text"/>	レベル2 <input type="text"/>	レベル3 <input type="text"/>	レベル4 <input type="text"/>
分類5	レベル1 <input type="text"/>	レベル2 <input type="text"/>	レベル3 <input type="text"/>	レベル4 <input type="text"/>

3-1-3 情報提供の範囲

一般に公開する場合は「一般」を選択してください。

「国土交通省のみ」とすると検索しても一般に公開されません。

3-1-4 分類

分類1から5まで5つ選択して記入できます。

「分類一覧をダウンロード」より一覧をご覧になれます。

分類については、チェックを行い修正をお願いする場合があります。

3.様式2記入のポイント(名称・分類)

3-2 区分・キーワード・開発目標・開発体制・開発会社の記入

3-2-1 区分

該当する区分「工法」「材料」「機械」「製品」「システム」の5つより選択。

3-1-2 キーワード

詳細検索のキーワードを設定します。3つまで選択できますが、技術内容に沿ったものにする必要があります。任意のキーワードも3つまで記入できます。

3-1-3 開発目標

開発目標を3つまで選択できます。

3-1-4 開発体制

申請技術の開発をどのような体制で行ったのかを選択。

3-1-5 開発会社

開発に携わった会社名・団体名を全て記入。

同意書を交わした共同特許会社や販売代理店、教育機関、協会、団体等も含まれます。

複数の会社名を記入する場合は「、(読点)」で区切ってください。

区分 ▼

キーワード

安心・安全
 環境
 情報化
 コスト削減・生産性の向上
 公共工事の品質確保・向上
 景観
 伝統・歴史・文化
 リサイクル

開発目標

省人化
 省力化
 経済性の向上
 施工精度の向上
 耐久性の向上
 安全性の向上
 作業環境の向上
 周辺環境への影響抑制
 地球環境への影響抑制
 省資源・省エネルギー
 品質の向上
 リサイクル性向上
 その他

開発体制

共同研究(産・官・学)
 単独(産)
 単独(官)
 単独(学)
 共同研究(産・産)
 共同研究(産・官)
 共同研究(産・学)

開発会社

3.様式2 記入のポイント (名称・分類)

3-3 問合せ先の記入

問合せ先 (技術)

3-3-1 問合せ先(技術)、問合せ先(営業)

技術的、営業部等への問合せ先を記入してください。

URLは「https://」等から記入する必要があります。

問合せ先 (営業)

3-3-2 問合せ先(その他)

共同開発会社や工法協会会員会社等の問合せ先を必要な数だけ追加して記入することができます。

問合せ先 (その他)

会社名	<input type="text"/>
部署名	<input type="text"/>
担当者	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
TEL	<input type="text"/>
FAX	<input type="text"/>
E-MAIL	<input type="text"/>
URL	<input type="text"/>
会社名	<input type="text"/>
部署名	<input type="text"/>
担当者	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
TEL	<input type="text"/>
FAX	<input type="text"/>
E-MAIL	<input type="text"/>
URL	<input type="text"/>

項目追加

会社名	部署名	担当者	郵便番号	住所	TEL	FAX	E-MAIL	URL	削除
-----	-----	-----	------	----	-----	-----	--------	-----	----

4.様式2記入のポイント(概要)

4-1 技術概要・概要の記入

名称・分類 **概要** 従来技術との比較 施工実績等 震災NETIS 維持管理NETIS

4-1-1 技術概要(アブストラクト)

アブストラクトとは、NETISで検索された際に表示される概要です。

全角127文字以内で、半角カタカナ、連続するスペースは使用できません。

(凡例)

本技術は○○○工法であり、従来は△△△工法を使用していた。
 本技術の活用により、労務費低減によるコスト縮減、精度向上による出来形品質の向上が期待できる。 ※下線部は適宜変更してください

技術概要
(アブストラクト)

検索結果に表示する技術の概要です。全角127文字以内。半角カタカナ及び連続するスペースは入力できません

概要

NETISに掲載する概要です。全角1000文字以内。半角カタカナ及び連続するスペースは入力できません

①～③は入力支援コメントです。変更及び削除はしないでください

①何について何をやる技術なのか？

②従来はどのような技術で対応していたのか？

③公共工事のどこに適用できるのか？

4-1-2 概要

①、②、③については残したまま記入します。また、申請技術について、さらに詳細を記入したい場合は、新たに「④その他」を設定して記入してください。

全角1,000文字以内で、半角カタカナ、連続するスペースは使用できません。

①何について何をやる技術なのか？・・・できるだけ箇条書きで簡潔に表現してください。

(凡例) 地盤改良におけるバックホウ用アタッチメント攪拌機械を使用した深層混合処理工法

(悪例) 盛土における軽量盛土と再生木材による工期短縮、環境負荷の軽減、経済性の縮減可能^{*注1}な画期的な^{*注2}擁壁工法

*注1 概要に記入する内容では無いため、不可

*注2 主観的な表現であるため、不可

②従来はどのような技術で対応していたのか？・・・①と同様に箇条書きで簡潔に表現してください。

③公共工事のどこに適用できるか？・・・①・②と同様に箇条書きで簡潔に表現してください。土木工事標準積算基準に記載のある工種名にすれば解りやすくなります。(凡例3) 道路盛土工 (凡例4) 法面工における地山補強工

4. 様式2 記入のポイント (概要)

4-2 概要写真設定・概要表の作成

4-2-1 概要写真

新技術の概要を表す画像を設定します。

ここに使用する画像は、検索された場合に技術概要(アブストラクト)と同様に表示される画像(サムネイル画像)となりますので、必ず設定してください。

※サムネイル画像の大きさは200(ピクセル)の正方形で、それ以上大きいサイズの画像は200(ピクセル)に縮小されます。

「参照...」ボタンをクリックすると、「アップロードする画像を選択」ダイアログが表示されますので、PC内画像を選んで「開く」で設定できます。

画像ファイルサイズ2MB以内、横幅600(ピクセル)以内のものが使用できます。

様式2には「概要写真」、「効果写真」、「施工方法写真」、「実験等実施状況写真」、「その他写真1」、「その他写真2」、「その他写真3」の7ヶ所あり、それぞれ同様の方法で設定します。

各写真タイトルは必ず記入してください。

4-2-2 表の作成

概要表は、新技術の諸元を記入したり、シリーズラインナップを羅列したり様々なアイデアで使用できます。

様式2には「概要表」、「効果表」、「費用内訳表」、「施工方法表」、「実験等実施状況表」の5ヶ所あり、それぞれ同様の記入方法で作成します。各表とも表タイトルは必ず記入してください。

概要写真 この画像がサムネイルに設定されます



The screenshot shows a web form with the following elements:

- A text input field for the summary photo title, labeled "概要写真タイトル".
- A "参照..." button, highlighted with a red box, used to select an image. Below it is a note: "※画像サイズは2MBまでのものとしてください。"
- A label "登録済み写真名:" followed by a text input field.
- A label "概要表" followed by a table with columns for "見出し" (Header), "列数" (Number of columns), and "行数" (Number of rows). The current values are 0 for both.
- A text input field for the table title, labeled "概要表タイトル".

4. 様式2 記入のポイント (概要)

4-3 新規性及び期待される効果

4-3-1 新規性及び期待される効果

①どこに新規性があるか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)

(凡例)

コンクリート製のプレキャスト板だったものを、廃材を利用した再生木材板に変更した。 ※下線部は適宜変更してください

凡例のように、新たに追加したり、取り除いたりなど物理的・理論的な変更要因を箇条書きで簡潔に記入してください。なお、このような表現方法が出来ない場合は、改善された新規性など申請技術の優位性や特筆点を記入していただいても構いません。

新規性及び期待される効果

全角1000文字以内。半角カタカナ及び連続するスペースは入力できません

①～②は入力支援コメントです。変更及び削除はしないでください

①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)

②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)

4-3-2 表の作成

②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)

(凡例)

廃材を利用した再生木材板としたことで、地球環境負荷を軽減でき、且つコスト縮減が可能となる ※下線部は適宜変更してください

ここで記入したメリットや向上点については、「様式3：詳細説明資料」で実証・確認した内容としてください。

ここに記入する内容は、概要(アブストラクト)とほぼ同様の内容となります。

また、「③その他、詳細、追記...」等として、開発コンセプトや経緯、メリットの詳細や裏付け、説明の必要がある事など、文字数の許す限り記入することが出来ます。

4.様式2記入のポイント(概要)

4-4 適用条件・適用範囲

4-4-1 適用条件

①自然条件

気温や湿度、天候、風速等の条件について記入。

②現場条件

作業・仮置きスペース、搬入経路、重機の制約、施工場所などについて記入。

③技術提供可能地域

申請技術が適用できる地域に制約がある場合に記入します。制約が無い場合は「技術提供可能地域に制約なし」等と記入してください。

④関係法令等

法令上遵守しなければならない条件を記入します。労働安全衛生法等は記入しません。

適用条件 全角1000文字以内。半角カタカナ及び連続するスペースは入力できません
①～④は入力支援コメントです。変更及び削除はしないでください

①自然条件

②現場条件

③技術提供可能地域

④関係法令等

適用範囲 全角1000文字以内。半角カタカナ及び連続するスペースは入力できません
①～④は入力支援コメントです。変更及び削除はしないでください

①適用可能な範囲

②特に効果の高い適用範囲

③適用できない範囲

④適用にあたり、関係する基準およびその引用元

4-4-2 適用範囲

①適用可能な範囲

施工量、規模、地域、勾配、高さや延長等できるだけ詳細に記入。

②特に効果の高い適用範囲

①の中で特に効果の高い条件を具体的に記入してください。

③適用できない範囲

適用できない理由を記入してください。

④適用にあたり、関係する基準及び引用元

土木共通仕様書、各種設計便覧、その他基準類の発行年月日、発行元を記入してください。自社マニュアル、協会マニュアル等は記入しません。
無い場合は「特になし」と記入。

4.様式2記入のポイント(概要)

4-5 留意事項

4-5-1 留意事項

留意事項は非常に重要なポイントとなります。設計、施工、維持管理、その他において留意する点や注意点を記入。

開発者や申請者から見れば当たり前と思う内容でも、閲覧者は興味を持っているため、関心する内容となる場合も有ります。

ネガティブな内容をオープンにして、閲覧者に安心感を与えることが、新技術の信頼性向上に役立ちます。

①設計時

設計時に必要な考察、事前確認などを記入。

②施工時

施工時に必要な考察、確認、使い方の注意事項などを記入。

③維持管理等

申請技術を使用して完成した出来形を維持するために必要な作業等を記入。

④その他

その他、注意事項等を記入。

留意事項 全角1000文字以内。半角カタカナ及び連続するスペースは入力できません
①～④は入力支援コメントです。変更及び削除はしないでください

①設計時

②施工時

③維持管理等

④その他

新技術の検索	新技術の登録申請 - 申請情報 - 評価情報	テーマ設定型の比較表 マッチング 維持管理技術の検索 震災復旧・復興支援技術の検索 マニュアル/FAQ	プライバシーポリシー 著作権等について お問い合わせ
------------------------	--	---	--

Copyright 2020. New Technology Information System.All Rights Reserved.

5-1 活用の効果(経済性)

活用の効果 従来技術名

5-1-1 従来技術名

従来技術名を入力すると、各項目の表示が明るくなり、入力可能となります。概要(アブストラクト)、概要②で入力した従来技術と同じにする必要があります。全ての比較について、根拠・裏付け資料や実験結果が必要となります。

経済性	<input type="radio"/> 向上	<input checked="" type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	比較のポイント
	変化値			
工程	<input type="radio"/> 短縮	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 増加	比較のポイント
	変化値			

5-1-2 経済性・工程

経済性・工程の評価部分(緑・黄・赤部分)をクリックすると、右図の様に「活用の効果の根拠」が展開します。[次頁参照](#)
工程は設定した基準単位を施工するのに必要な日数を記入します。根拠・裏付けのない数値は記入しないでください。
施工実験や歩掛により算出された日数としてください。

活用の効果の根拠
経済性・工程の変化は以下を入力すると計算されます

基準とする数量 単位

新技術の内訳追加

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要	編集/削除
合計 0 円 / <input type="text"/> あたり							

従来技術の内訳追加

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要	編集/削除
合計 0 円 / <input type="text"/> あたり							

工程：新技術 日 工程：従来技術 日

[戻る▲](#)

5-1-3 基準とする数量・単位

10、100、1,000とキリのいい数字とする事が基本となります。
閲覧者が想像しやすい数量とします。また、単位は、土木工事標準積算基準に記載の施工単位が基本となります。

5-2 活用の効果(活用の効果の根拠)

5-2-1 新技術・従来技術の内訳追加

「新技術の内訳追加」をクリックすると、ポップアップが表示されますので、各項目に記入してください。

5-2-1-1 項目

費目を記入します。基本は直接工事費で比較しますので、「材料費」「労務費」「機械経費」「諸雑費」のいずれかとなります。

5-2-1-2 仕様

仕様を記入します。材料費なら寸法や規格、労務費なら作業員種別など、機械経費なら大きさや規格などを記入。

5-2-1-3 数量、単位

数量と単位を記入。

5-2-1-4 単価、金額

単価を記入します。数量に数値が入力されていれば、自動計算により金額が表示されます。

5-2-1-5 摘要

単価を採用するにあたって参照した単価表の名前や採用した歩掛の名称等を記入します。自社の見積や歩掛を使用していれば「自社見積」「自社歩掛」となります。



活用の効果 従来技術名

経済性

工程

活用の効果
経済性・工程の
基準とする

新技術

項目

従来技

項目

項目

仕様

数量

単位

単価

金額

摘要

追加 閉じる

摘要 編集/削除

合計 0円/□あたり

摘要 編集/削除

合計 0円/□あたり

工程：新技術 □ 日 工程：従来技術 □ 日

畳む▲

5-3 活用の効果(品質・安全性・施工性・周辺環境への影響)

※全ての比較について、根拠・裏付け資料や実験結果が必要となります。

・5-3-1 品質

品質とは、出来形精度、計測精度、使用材の強度など成果物の品質について比較した結果を記入。

・5-3-2 安全性

仮設構造物以外の安全性についての比較結果を記入。

・5-3-3 施工性

施工時の簡易性、運搬時の軽量化、熟練工依存度などの比較結果について記入。

・5-3-4 周辺環境への影響

エコ・リサイクル製品の使用、騒音・振動の軽減、排水の無毒化などの比較結果について記入。

・5-3-5 その他、技術のアピールポイント

従来技術が抱えていた課題等に対し、申請技術がどのような有効性を持っているのが簡潔に記入してください。

品質	<input type="radio"/> 向上	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	比較のポイント
安全性	<input type="radio"/> 向上	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	比較のポイント
施工性	<input type="radio"/> 向上	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	比較のポイント
周辺環境への影響	<input type="radio"/> 向上	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	比較のポイント
自由項目 <small>(全角20文字)</small>	<input type="radio"/> 向上	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	比較のポイント
自由項目 <small>(全角20文字)</small>	<input type="radio"/> 向上	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	比較のポイント
その他、技術のアピールポイント等 <small>(全角127文字)</small>				
<input type="text"/>				

5-4 施工単価、施工方法

5-4-1 施工単価

経済性比較に用いる施工条件は、現場によって変化するのが一般的ですので、閲覧者が想像し易いごく一般的な施工条件を想定し、比較を行います。

材料単価、労務費単価、機械経費など従来技術と同条件とします。

また、算出条件や使用した歩掛など、できるだけ詳しく記入。

経済性比較については、資料を作成し提出いただいておりますので、その資料との整合が重視されます。

製品技術で、材料単価のみの比較では不可です。必ず施工費まで算入して比較を行ってください。

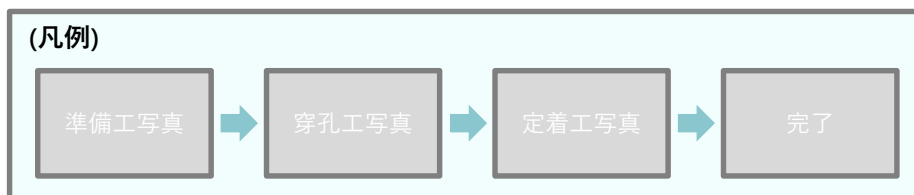
5-4-2 施工方法

作業を段階毎に分けて記入してください。箇条書きで、補足文を記入すると見やすくなります。また、施工フロー図を作成して設定するとなお良いでしょう。

従来技術とフロー図を並べて作成すると、違いがよくわかります。

また、実際の工程だけでは無く、事前準備、フォローアップ、後片付け等について記入するとより完成された新技術として印象を受けるでしょう。

写真についても各工程を順序立てるとより解りやすくなります。



施工単価 全角1000文字以内

施工条件
油圧式枕圧入引抜機による鋼矢板10枚当たりの直接工事費での比較
・油圧式枕圧入引抜機による打込み
・油圧式枕圧入引抜機の賃料、損料は考慮しない

算出条件
・〇〇鋼矢板の施工費は、△△協会「〇〇鋼矢板積算基準書(暫定版)」〇〇年度〇月による
・〇〇鋼矢板の材料単価は、建設物価調査会「建設物価〇年〇月P**」による

費用内訳表
タイトル

費用内訳表 見出し 列数 0 行数 0

●なし ○標準歩掛 ○暫定歩掛 ○協会歩掛 ○自社歩掛

施工方法 全角1000文字以内。半角カタカナ及び連続するスペースは入力できません

施工方法写真 参照... 登録済み写真名:
※画像サイズは2MBまでのものとしてください。

施工方法写真
タイトル

施工方法表 見出し 列数 0 行数 0

5-5 今後の課題とその対応計画

今後の課題とその対応計画

全角1000文字以内。半角カタカナ及び連続するスペースは入力できません
①～②は入力支援コメントです。変更及び削除はしないでください

①今後の課題

②対応計画

新技術の検索	新技術の登録申請	テーマ設定型の比較表	プライバシーポリシー
	- 申請情報	マッチング	著作権等について
	- 評価情報	維持管理技術の検索	お問い合わせ
		震災復旧・復興支援技術の検索	
		マニュアル/FAQ	

Copyright 2020, New Technology Information System.All Rights Reserved.

5-5-1 今後の課題とその対応計画

①今後の課題

新技術開発後の課題について記入してください。

②対応計画

その課題をどのように解決するつもりであるか記入してください。

6.様式2記入のポイント(施工実績等)

6-1 今後の課題とその対応計画

名称・分類 | 概要 | 従来技術との比較 | **施工実績等** | 震災NETIS | 維持管理NETIS

施工実績 実績件数(国土交通省)

※旧建設省、旧運輸省含む

国土交通省 件

国土交通省における施工実績(20件まで)

※現在入力している新技術に関するもの以外は入力しないでください。

実績追加

工事名	事業種類	地方整備局名	事務所	施工開始	施工終了	Corins登録番号	編集/削除
-----	------	--------	-----	------	------	------------	-------

実績件数(国土交通省以外)

※旧建設省、旧運輸省除く

その他公共機関 件

民間 件

国土交通省以外における施工実績(20件まで)

※現在入力している新技術に関するもの以外は入力しないでください。

実績追加

工事名	発注者(種別)	発注者(事務所名等)	施工開始	施工終了	Corins登録番号	編集/削除
-----	---------	------------	------	------	------------	-------

6-1-1 実績件数(国土交通省)、その他の実績

「**実績追加**」をクリックすると入力用ウィンドウが表示されますので各項目に記入してください。

- ・工事名：工事請負契約書等に記載されている工事名を正確に記載してください。
- ・事業種別：工事の実績でコリンズ番号がある場合は「一般工事」を、不明な場合は「その他」と記入してください。
- ・地方整備局名：発注者である国土交通省の地方整備局名を選択してください。
- ・事業所名：発注者である地方整備局管轄の事務所名を選択してください。
- ・施工開始日：工事開始の日付を記入してください。全体の工期で無く部分的な工期も同様です。
- ・施工終了日：工事終了の日付を記入してください。開始日と同じ。
- ・CORINS 番号：登録したコリンズの番号を記入してください。不明な場合は空欄で結構です。

6.様式2 記入のポイント (施工実績等)

6-2 特許・実用新案

6-2-1 特許

「[入力する▼](#)」をクリックすると入力用ウィンドウが展開されますので各項目に記入してください。

特許は5つまで記入できます。

- ・特許番号：取得済みは「特許第*****号」、出願中は「特開****-*****号」、「特願****-*****号」と記入。
- ・地方整備局名：発注者である国土交通省の地方整備局名を選択してください。
- ・特許権者：特許の権利者を全て記入してください。
- ・実施権者：特許権者以外で特許を実施できる者について記入してください。
- ・特許料等：特許使用料について記入してください。
- ・実施形態：特許を実施する場合の形態について記入してください。
- ・問合せ先：特許についての問合せ先を記入してください。

6-2-2 実用新案

実用新案は1つ記入できます。

- ・実用新案：実用新案の状態を選択してください。
- ・実用新案-通常実施権、実用新案-専用実施権：有りか無しを選択してください
- ・備考：実用新案の名称等を記入してください。

特許情報5

特許番号

特許 有り 出願中

特許-通常実施権 有り 無し

特許-専用実施権 有り 無し

特許権者

実施権者

特許料等

実施形態

問合せ先

実用新案 有り 出願中 出願予定 無し

有りの場合
：特許番号

実施新案-通常実施権 有り 無し

実施新案-専用実施権 有り 無し

備考 全角1000文字以内。半角カタカナ及び連続するスペースは入力できません

畳む▲

6.様式2記入のポイント(施工実績等)

6-3 第三者評価・表彰等

6-3-1 建設技術審査証明

建設技術審査証明を取得している場合は各項目に記入してください。

建設技術審査事業については[こちら](#)

6-3-2 建設技術評価

建設技術評価を取得している場合は各項目に記入してください。

※建設技術評価制度については、平成9年度以降休止しています。

建設技術評価制度については[こちら](#)

6-3-3 その他の制度による証明1,2

ものづくり日本大賞、国土技術開発賞等上記以外の第三者の証明について、

2つまでこちらに記入してください。

6-3-4 項目追加

項目を追加して、任意の評価等の内容を記入できます。

第三者評価・表彰等

建設技術審査証明
建設技術番号、評価年月日、評価機関いずれかを入力すると残りが必須となります

建設技術番号

評価年月日 >

評価機関

URL

建設技術評価
建設技術評価番号、評価年月日いずれかを入力すると他方が必須となります

建設技術評価番号

評価年月日 >

URL

その他の制度等による証明1

制度の名称

番号

証明年月日 >

証明機関名称

証明範囲

URL

その他の制度等による証明2

制度の名称

番号

証明年月日 >

証明機関名称

証明範囲

URL

現在入力している新技術に関するもの以外は入力しないでください。

[項目追加](#)

証明項目	試験・調査内容	結果

[戻る▲](#)

6.様式2 記入のポイント (施工実績等)

6-4 実験について

6-4-1 実験等実施状況

試験施工、室内試験、自社試験など実施した内容について、写真を用いてできるだけ詳細に記入してください。

以下の項目については必須で記入してください。

※試験実施日、試験実施場所、試験目的、試験方法、試験結果、考察

また、試験については同内容の添付資料が必要となりますので併せて作成してください。

表などを使用してまとめると非常に見やすくなります。

実験等実施状況 全角1000文字以内。半角カタカナ及び連続するスペースは入力できません

実験等実施状況写真 ※画像サイズは2MBまでのものとしてください。

参照...
登録済み写真名:

実験等実施状況写真タイトル

実験等実施状況表 見出し 列数 行数

実験等実施状況表タイトル

6.様式2記入のポイント(施工実績等)

6-5 添付資料について

6-5-1 添付資料

添付資料とは、様式2、3、4に記入する内容を証明する書類となります。

添付資料を全て列挙してください。

(凡例)

- ・【添付資料 1】パンフレット
- ・【添付資料 2】経済性比較表
- ・【添付資料 3】鋼材証明書
- ・【添付資料 4】引張試験結果報告書
など

6-5-2 参考文献

参考文献は規格値等を引用した書物・論文等を記入します。

出版元、文献名、出版年月等記入してください。

6-5-3 その他

施工完了、施工中など、新技術に関連した写真を3枚設定出来ます。

画像の横幅は600ピクセルまでとしてください。それ以上大きいと表示レイア

ウトが崩れてしまいます。

添付資料 全角1000文字以内。半角カタカナ及び連続するスペースは入力できません

参考文献 全角1000文字以内。半角カタカナ及び連続するスペースは入力できません

その他 ※写真や図などは、GIFあるいはJPEG形式の画像ファイルにしてください。
※画像の横幅は最大でも横600ピクセルにおさまるようにしてください。

その他写真 1 参照... 登録済み写真名:
※画像サイズは2MBまでのものとしてください。

その他写真 1
タイトル

その他写真 2 参照... 登録済み写真名:
※画像サイズは2MBまでのものとしてください。

その他写真 2
タイトル

その他写真 3 参照... 登録済み写真名:
※画像サイズは2MBまでのものとしてください。

その他写真 3

7-1 震災NETIS

7-1-1 震災NETISとは

新技術活用システム（NETIS）に登録された技術を対象として、震災復旧・復興に資する技術をNETIS申請者より募り、広く情報提供することで、震災復旧・復興の現場における活用を支援するサイトです。

7-1-2 登録の方法

「震災NETIS項目を登録する。」にチェックを入れると各項目が入力ができるようになります。

- ・ジャンル：該当する工種にチェックを入れてください。
- ・震災対応上の特徴：震災に対応する場合の特徴・対応の方法等を記入してください。
- ・関連URL：関連するURLを記入します。
- ・災害対応関連工事・業務における活用実績：震災対応した施工実績数と詳細を5件まで記入してください。



The screenshot shows the registration interface for disaster response projects in NETIS. At the top, there are navigation tabs: 名称・分類, 概要, 従来技術との比較, 施工実績等, 震災NETIS, and 維持管理NETIS. A yellow box contains the text: 震災NETIS項目を登録する.

Below this is a table for selecting genres (ジャンル). The table has two columns: the genre name and a checkbox. The genres listed are:

ライフライン復旧	<input type="checkbox"/> ライフライン復旧
がれき・土砂処理	<input type="checkbox"/> 収集 <input type="checkbox"/> 分別 <input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 処分
液状化対策	<input type="checkbox"/> 液状化対策
補修・修復	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物 <input type="checkbox"/> 橋梁 <input type="checkbox"/> 路面 <input type="checkbox"/> 河川護岸 <input type="checkbox"/> 海岸 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)
仮設	<input type="checkbox"/> 足場 <input type="checkbox"/> 照明 <input type="checkbox"/> 仮設トイレ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)
水中作業	<input type="checkbox"/> 水中作業
無人化施工	<input type="checkbox"/> 無人化施工
応急復旧	<input type="checkbox"/> 応急復旧
計測・測量	<input type="checkbox"/> 計測・測量
計画・設計	<input type="checkbox"/> 計画・設計
情報通信、情報共有	<input type="checkbox"/> 情報通信、情報共有
その他	<input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)

Below the table is a text input field for "震災対応上の特徴" (Disaster response characteristics), with a note "全角150文字以内" (Within 150 full-width characters).

Next is a text input field for "関連URL" (Related URL).

Then, there is a section for "災害対応関連工事・業務における活用実績" (Usage实绩 in disaster response related work/business). It includes a field for "活用工事・業務件数" (Number of utilization work/business cases) with a spinner box.

Below that is a section for "実績1" (实绩1) with several input fields:

- 工期開始 (Start of work period) with a calendar icon
- 工期終了 (End of work period) with a calendar icon
- 災害名 (Disaster name) with a dropdown menu and "その他" (Other) with a text input field
- 工事・業務名 (Work/business name) with a text input field
- 発注者 (Orderer) with a text input field

7-2 維持管理NETIS

7-2-1 維持管理NETISとは

新技術活用システム（NETIS）に登録された技術を対象として、点検等に資する技術をNETIS申請者より募り、広く情報提供することで、点検等の現場における活用を支援するサイトです。

7-2-2 登録の方法

「維持管理NETIS項目を登録する。」にチェックを入れると各項目が入力ができるようになります。

- ・ジャンル：該当する工種にチェックを入れてください。
- ・点検等上の特徴：維持管理等に対応する場合の特徴・対応の方法等を記入してください。
- ・点検等対象の材質：維持管理等に対応する材質を記入してください。
- ・点検等の項目：維持管理等の項目を記入してください。
- ・新技術の活用により期待される効果：申請技術の活用により維持管理等について期待される効果を記入してください。
- ・関連URL：関連するURLを記入します。
- ・災害対応関連工事・業務における活用実績：震災対応した施工実績数と詳細、写真を5件まで記入してください。



The screenshot shows the registration interface for maintenance projects in NETIS. At the top, there is a navigation bar with tabs for '検索/印刷', '検索', '検索条件の初期化', '施工業種別', '点検NETIS', and '維持管理NETIS'. A yellow box contains the instruction: '登録済維持管理NETIS項目を登録する。' Below this is a 'ジャンル' (Genre) section with a scrollable list of project types and their corresponding checkboxes. The list includes: トンネル内附属物, トンネル, 橋梁, 舗装, 道路附属物, 土工, 係留施設, 外壁施設, 臨海交通施設, 滑止帯等, 舗装被覆物, 灯台・歌塔, 公園施設, 水閘門, 堰排水機場, 橋門橋脚, 護岸等, ゲート等, 砂防堤, 床固工等の砂防設備, 地盤り防止施設, 念経割地, 崩壊防止施設, 海岸堤防, 建築, 建築設備, 昇降機. Below the list are input fields for '点検等上の特徴', '点検等対象の材質', '点検等の項目', and '関連URL'. The '関連URL' field has a '公開' checkbox. The bottom section is titled '点検関連工事・業務における活用実績' and includes a '活用工事・業務件数' field. Below that is a table for '実績1' with columns for '工期開始', '工期終了', '点検等名', '工事・業務等名', '発注者', and '写真'. There are '参照' buttons for the start and end dates, and a '参照' button for the photos. A note at the bottom states: '※画像サイズは2MB以内のものとしてください。' and '登録済写真参照'.